

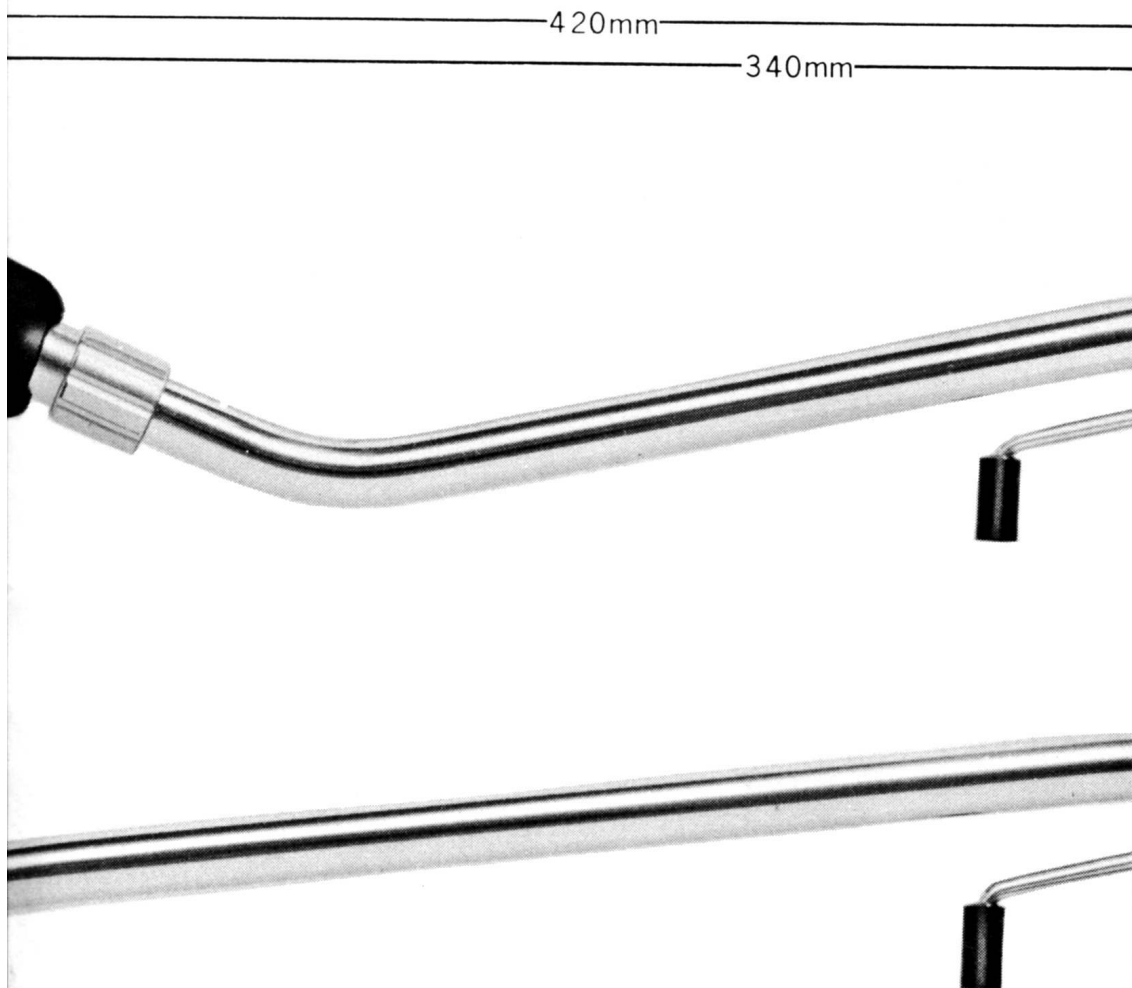
ハイ・コンプライアンスのカートリッジを軽針圧で使用する場合にも《追従性》を悪化させない。これを設計の基本として開発された新型アーム、UA-7/UA-70。

UA-7 / UA-70の追従性 実効質量

UA-7/70の可動部(シェル→パイプ→軸受)は剛性の大きい軽合金の巧妙な加工により、アームに起りやすい有害な共振を根絶すると同時に、内外各種のカートリッジと組合せても実効質量の値は十分に小さく、最も高い追従性が得られます。実効質量とカートリッジのコンプライアンスで決る低域共振周波数 f_0 は、低すぎればレコードのソリ/偏心の悪影響を受け、高すぎれば低域再生に問題が起りますが、UA-7/70では f_0 は約7~12Hzという理想的な範囲に納まります。実験のためシェルに適当なオモリを乗せ、実効質量を一般のアームなみに増加してみると追従性が目立って悪くなります。こうしてみると、軽量アーム、UA-7/70が抜群の追従性をもっていることがお分かりいただけます。

UA-7 / UA-70の追従性 回転感度

UA-7/70は、尖端が $50\mu\text{R}$ に研磨された精密ピボットによる1点支持と、ボールベアリング外輪で左右傾斜を規制するスタビライザーを組合わせた、軽量2点支持軸受で動作します。このユニークな方式は動作がきわめて鋭敏、極細リード線($50\mu\phi$)の摩擦抵抗も含め5mg未満の高感度を示します。回転感度の良否でもUA-7/70は、内外のいかなるアームとも一線を画しています。



るUA-7/UA-70